

草の根技術協力（地域活性化特別枠）事業提案書要約

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	ルワンダ国
2. 事業名	神戸-キガリ ICT ビジネス イニシアティブ
3. 事業の背景と必要性	ルワンダ国の国家開発目標 「Vision2020」 は、2020 年までに低所得国から競争力をもつ中進国へ脱却することを目指している。同 Vision では、ICT はルワンダ国の成長を促進する産業であるとともに、すべてのセクターの発展を支援する重要なツールとして位置づけられている。本提案事業により、各セクターにおいて汎用性の高い技術を習得した ICT 技術者が育成され、「国家開発目標「Vision2020」及び「国家 ICT 戦略計画」に準ずる高い裨益性を創出する一助となる。
4. プロジェクト目標	日本とルワンダのビジネスの架け橋になることを目的として、ICT 人材が育成される。
5. 対象地域	首都キガリ
6. 受益者層（ターゲットグループ）	・学生（大学3・4年生）及び民間企業で働く若者（合計60名） ・ルワンダの民間企業
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	<p>〈アウトプット〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ルワンダ大学理工学部において、ビジネスセクターが必要とする ICT 人材育成の機能が整えられる。 2. ルワンダの ICT ビジネスセクターに対して、若手 ICT 人材が供給されるようになる。 3. 育成された ICT 技術者が架け橋となり、ルワンダ企業と日本の企業の事業連携が促進される。 <p>〈活動〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1-1. ACEIoT の ICT 技術者養成コースの教材を改善する。 1-2. ACEIoT の ICT 技術者養成コースの教員に対し、指導能力、管理能力を強化するため、本邦研修を実施する。 1-3. ルワンダ大学理工学部の ICT 技術者養成コースの指導能力、管理能力を強化するため、本邦研修を実施する。 2-1. ICT ビジネスセクターと ICT 技術者養成コースのコースデザインを協議する。 2-2. ACEIoT と養成コースを実施する（3年間3コース）。 3-1. ルワンダ人 ICT エンジニア向けのルワンダ企業及び日本企業とのビジネスマッチングを開催する。
8. 実施期間	（西暦） 2019年3月～2023年2月（3年0ヵ月）
9. 事業費概算額	65,594千円（うち消費税額5,963千円）
10. 事業の実施体制	プロジェクトマネージャー1名、副総括/副総括1名、企業連携/研修管理1名、教材開発4名、国内業務支援1名、国内経理処理1名、ルワンダ人講師(KIC卒業生等)5名
II. 応募団体の概要	
1. 団体名（提案自治体名）	神戸-キガリ ICT ビジネス イニシアティブ共同事業体（代表：学校法人コンピュータ総合学園、構成員：株式会社シー・ディー・シー・インターナショナル（提案自治体である神戸市の指定団体））
2. 活動内容	ICT 人材育成のための養成プログラムの実施

（注：A4用紙 1枚以内にまとめてください）